

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アールテック・ウエノ
 コード番号 4573 URL <http://www.rtechueno.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真島 行彦

問合せ先責任者 (役職名) ビジネスマネジメント部長 (氏名) 中村 宏司

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

TEL 03-3596-8011

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,946	△4.5	477	42.5	472	44.8	847	121.7
22年3月期第2四半期	2,038	△42.9	335	△72.4	326	△73.7	382	△51.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	8,606.48	—
22年3月期第2四半期	7,764.52	—

(注)22年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、平成21年10月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の22年3月期第2四半期における1株当たり四半期純利益は、3,882円26銭であります。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	8,157	6,783	83.2	68,903.42
22年3月期	7,043	6,159	87.4	62,564.09

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,783百万円 22年3月期 6,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,534	8.9	920	26.3	928	26.7	1,231	84.7	12,508.15

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.**「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 98,444株 22年3月期 98,444株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 一株 22年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 98,444株 22年3月期2Q 49,222株

(注)22年3月期2Qの期中平均株式数(四半期累計)につきましては、平成21年10月1日を効力発生日とした株式分割を考慮しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きが完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	1
2. その他の情報	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(第2四半期累計期間)	4
(第2四半期会計期間)	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(7) 重要な後発事象	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

・レスキュラ®点眼液

当社の主力商品であるレスキュラ®点眼液は、製品価値を最大化するため、次の施策を行っております。

- ①当社は医師の目線で医薬品開発・販売を行う分野特化型（眼科・皮膚科）のグローバルな医薬品会社を目指しており、緑内障患者にとってレスキュラ®点眼液をより使い勝手の良い製品にするべく、貯法の変更を行いました。遮光して冷所に保管する必要があった従来の薬の成分・効果を変えずに室温での保存が可能となりました。
- ②緑内障の早期発見を目指して眼科医を対象に眼底読影勉強会を積極的に開催するとともに、製品説明会等を通じてレスキュラ®点眼液の販売促進活動を行っております。
- ③全世界でレスキュラ®点眼液の販路を再構築すべく、Novartis Pharma AGとの海外（台湾、韓国および北米地域を除く）における開発および商業化権に関するライセンス契約を解消し、新たな提携先との交渉を行っております。

これらの施策にもかかわらず、大幅な薬価改定や処方数減少の影響を受け、当第2四半期累計期間の売上高は955百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

・Amitiza®カプセル

慢性特発性便秘症治療薬及び便秘型過敏性腸症候群治療薬であるAmitiza®カプセルは、米国のSucampo Pharma Americas, Inc. 社（以下SPA社）から、北米地域における独占的製造供給を受託しております。当第2四半期累計期間の売上高は、北米市場向けの在庫調整が一段落したことから、939百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

北米地域での販売において、Sucampo Pharmaceuticals, Inc. 社（以下スキャンボ社）は武田薬品工業株式会社（以下武田薬品）が両社間の共同販売契約に違反したために損害を受けたとして国際仲裁裁判所に仲裁の申し立てを行っており、当社としてもスキャンボ社側の一員として仲裁手続きに参加しています。

北米地域以外については、株式会社スキャンボファーマ（以下SPL社）、Sucampo Pharma Europe Ltd. 社との治験薬及び承認取得後の商業生産に関する独占的製造供給契約を締結しており、SPL社は日本において第3相二重盲検試験を終了し、製造販売承認申請を行っております。また、SPA社は、オピオイド誘発性腸機能障害について第3相臨床試験を実施中です。

・医薬品の研究開発支援サービス

医薬品の研究開発支援サービスの売上高は51百万円（前年同期比59.6%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,946百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

当第2四半期累計期間の営業利益及び経常利益については、上記売上高の減少があったが、前第2四半期累計期間と比べ研究開発費が減少（711百万円から411百万円へ300百万円減少）したこと等により、それぞれ477百万円（前年同期比42.5%増）、472百万円（前年同期比44.8%増）となりました。

税引前四半期純利益及び四半期純利益については、田辺三菱製薬株式会社との間の遺伝子組換え人血清アルブミンを有効成分とするライセンス契約の解消に伴い、受取和解金972百万円を特別利益として計上したこと等により、それぞれ1,438百万円（前年同期比128.9%増）、847百万円（前年同期比121.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の資産合計は、8,157百万円（前事業年度末比15.8%増）となりました。これは主として田辺三菱製薬からの受取和解金を受領したことにより、現金及び預金が3,196百万円から4,261百万円（同33.3%増）となったことによるものです。

負債合計は、1,373百万円（前事業年度末比55.3%増）となりました。これは主として未払法人税等が244百万円から485百万円（同98.6%増）となったことによるものです。

純資産合計は、6,783百万円（前事業年度末比10.1%増）となりました。これは主として四半期純利益847百万円を計上したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年8月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これに伴う営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、軽微であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,261,762	3,196,116
売掛金	443,300	299,511
製品	28,499	54,045
仕掛品	837,985	825,722
原材料及び貯蔵品	679,969	721,376
その他	337,571	274,355
流動資産合計	6,589,088	5,371,128
固定資産		
有形固定資産	605,135	657,333
無形固定資産	131,527	146,887
投資その他の資産		
投資有価証券	781,144	825,449
その他	50,113	42,683
投資その他の資産合計	831,257	868,133
固定資産合計	1,567,920	1,672,354
資産合計	8,157,009	7,043,482
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,544	77,683
未払法人税等	485,316	244,414
その他	449,299	419,079
流動負債合計	1,092,160	741,177
固定負債		
繰延税金負債	229,718	112,448
役員退職慰労引当金	27,843	23,455
その他	24,157	7,341
固定負債合計	281,719	143,246
負債合計	1,373,880	884,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,987	653,987
資本剰余金	593,787	593,787
利益剰余金	5,104,603	4,454,235
株主資本合計	6,352,377	5,702,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	430,750	457,050
評価・換算差額等合計	430,750	457,050
純資産合計	6,783,128	6,159,059
負債純資産合計	8,157,009	7,043,482

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,038,647	1,946,528
売上原価	617,795	669,546
売上総利益	1,420,851	1,276,982
販売費及び一般管理費	1,085,837	799,723
営業利益	335,013	477,258
営業外収益		
受取利息	1,853	1,537
受取賃貸料	—	5,252
保険返戻金	1,758	—
還付加算金	1,425	—
その他	1,195	866
営業外収益合計	6,232	7,656
営業外費用		
支払利息	3,205	—
為替差損	10,108	12,248
その他	1,570	—
営業外費用合計	14,884	12,248
経常利益	326,361	472,666
特別利益		
受取和解金	—	972,380
固定資産売却益	289,536	—
役員退職慰労引当金戻入額	14,255	—
特別利益合計	303,792	972,380
特別損失		
固定資産売却損	1,067	—
固定資産除却損	697	472
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,979
特別損失合計	1,764	6,452
税引前四半期純利益	628,389	1,438,594
法人税、住民税及び事業税	58,294	477,242
法人税等調整額	187,909	114,095
法人税等合計	246,204	591,338
四半期純利益	382,185	847,256

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,001,821	1,011,358
売上原価	319,370	325,880
売上総利益	682,451	685,477
販売費及び一般管理費	578,495	468,617
営業利益	103,956	216,860
営業外収益		
受取利息	1,090	847
保険返戻金	1,758	—
受取賃貸料	—	2,677
その他	658	585
営業外収益合計	3,507	4,111
営業外費用		
支払利息	1,517	—
為替差損	7,908	6,948
その他	1,320	—
営業外費用合計	10,745	6,948
経常利益	96,718	214,022
特別利益		
受取和解金	—	972,380
特別利益合計	—	972,380
特別損失		
固定資産売却損	1,067	—
固定資産除却損	697	—
特別損失合計	1,764	—
税引前四半期純利益	94,953	1,186,403
法人税、住民税及び事業税	△80,465	413,027
法人税等調整額	121,606	89,123
法人税等合計	41,141	502,150
四半期純利益	53,812	684,252

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	628,389	1,438,594
減価償却費	143,609	100,059
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,979
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△34,377	4,387
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,833	—
受取利息及び受取配当金	△1,853	△1,537
支払利息	3,205	—
為替差損益(△は益)	11,781	16,309
無形固定資産除売却損益(△は益)	△289,536	—
和解金	—	△972,380
売上債権の増減額(△は増加)	70,018	△143,788
たな卸資産の増減額(△は増加)	25,259	54,690
前渡金の増減額(△は増加)	△814	△50,521
前払費用の増減額(△は増加)	234,410	4,525
仕入債務の増減額(△は減少)	△86,916	79,861
未払金の増減額(△は減少)	△37,500	71,672
未払費用の増減額(△は減少)	8,521	△7,689
前受金の増減額(△は減少)	142,301	△4,949
その他	69,249	△24,503
小計	880,915	570,708
利息及び配当金の受取額	1,853	1,537
利息の支払額	△5,520	—
和解金の受取額	—	972,380
法人税等の支払額	△82,786	△238,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,462	1,306,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,102	△18,333
無形固定資産の取得による支出	△5,360	△1,808
無形固定資産の売却による収入	289,536	—
差入保証金の回収による収入	28,459	—
その他	27	△6,653
投資活動によるキャッシュ・フロー	268,561	△26,796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
配当金の支払額	△295,528	△196,257
リース債務の返済による支出	△1,122	△1,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△796,650	△197,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,781	△16,309
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	254,591	1,065,645
現金及び現金同等物の期首残高	2,387,277	3,196,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,641,868	4,261,762

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、医薬品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。